

## 令和7年（2025年）の西之島の火山活動

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

噴火は観測されませんでしたが、山頂火口付近の噴気活動は継続し、島の周囲では変色水が継続的に確認されています。

### ○ 噴火警報・予報の状況、2025年の発表履歴

2025年中変更なし	火口周辺警報（入山危険） 火山現象に関する海上警報（半径0.9海里以内の周辺海域警戒）
------------	--

### ○ 2025年の活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図1～図14）

気象衛星ひまわりの観測で、噴火は観測されませんでした。

海洋気象観測船「啓風丸」及び「凌風丸」が実施した海上からの観測、及び1月から12月にかけて行われた海上保安庁による上空からの観測では、噴火は観測されませんでしたが、引き続き火砕丘中央火口内や周辺で複数の白色噴気の放出及び硫黄昇華物の分布が確認されました。島のほぼ全周に広範囲の変色水域が認められました。また、緑白色～灰白色の火口湖と、火口湖表面から水蒸気が上がっているのが確認されました。

#### ・地表面温度の推移（図15）

西之島付近の地表面温度<sup>1)</sup>は、周囲とほとんど変わらない状態となっています。

1) 輝度温度による。輝度温度とは、気象衛星で観測された放射エネルギーを観測対象が黒体と仮定して変換した温度のことです。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/kazan/kazanyougo/mokujii.html>

この資料は、海上保安庁のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています。



図1 西之島 1月の西之島の状況（海上保安庁による上空からの観測）

- ・噴火は認められませんでした。火碎丘中央火口東側内壁の広い範囲から白色噴気が出ていました。
- ・火口内に灰白色の火口湖を確認し、火口湖表面からは盛んに水蒸気が上がってきました。
- ・島のほぼ全周に赤褐色から緑色の変色水が広範囲に分布していました。また、島の西岸から北岸では変色水に沿って筋状に赤みがかった灰色の浮遊物が少量認めされました。

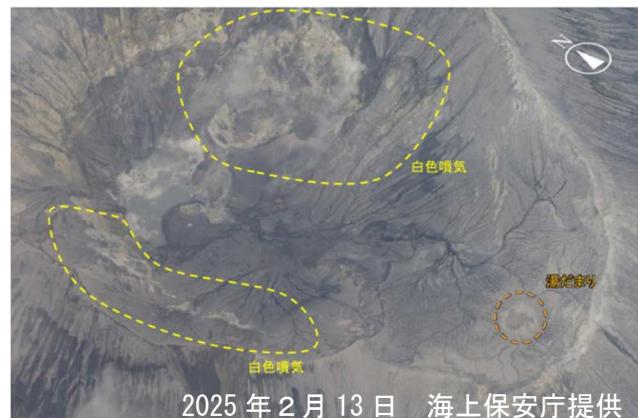
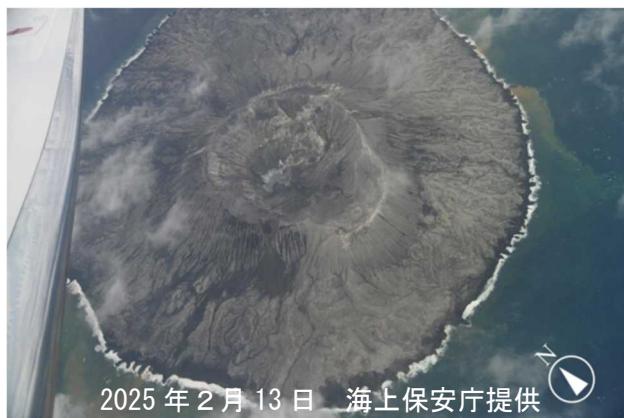


図2 西之島 2月の西之島の状況（海上保安庁による上空からの観測）

- ・噴火は認められませんでした。火碎丘中央火口内壁に、少量の白色噴気が出ていました。
- ・火碎丘中央火口内及び外壁に、硫黄昇華物が分布していました。
- ・火碎丘中央火口内に、灰白色の火口湖を確認し、火口湖は高温で湖面から盛んに水蒸気が上がっていました。また、火碎丘中央火口南側内縁に茶褐色の湯だまりを確認しました。
- ・島のほぼ全周に赤褐色から緑色の変色水が広範囲に分布していました。



図3－1 西之島 2月の西之島の状況（海洋気象観測船「啓風丸」による海上からの観測）  
観測位置は図6参照。

- ・火口から水蒸気が上がっているのが認められました。
- ・南岸から南東方向に3kmほど延びる変色水域が認められました。
- ・島の南東約1.8kmにて硫黄臭が認められました。



図3－2 西之島 周辺で確認された軽石群及び変色水（海洋気象観測船「啓風丸」による観測）

- ・2月21の観測では、出所は不明ですが、島の南東3.3kmほどの地点に軽石と思われる漂流物が、島の南東3kmほどの地点に長さ60mほどの軽石群がそれぞれ認められました。
- ・南岸から南東方向に3kmほど延びる変色水域が認められました。また、南岸・北岸から沖に0.9kmほどの濃いエメラルドグリーンの変色水が認められました。



図4 西之島 2月の西之島の状況（海上保安庁による海上からの観測）

- ・噴火は認められませんでした。火碎丘中央火口東側内壁及び外壁に白色噴気が出ていました。
- ・火碎丘中央火口内及び外壁の一部に硫黄昇華物が分布していました。
- ・島のほぼ全周に赤褐色から緑色の変色水域が分布していました。
- ・島の南方約3kmの海上で、橙色の浮遊物が認めされました。

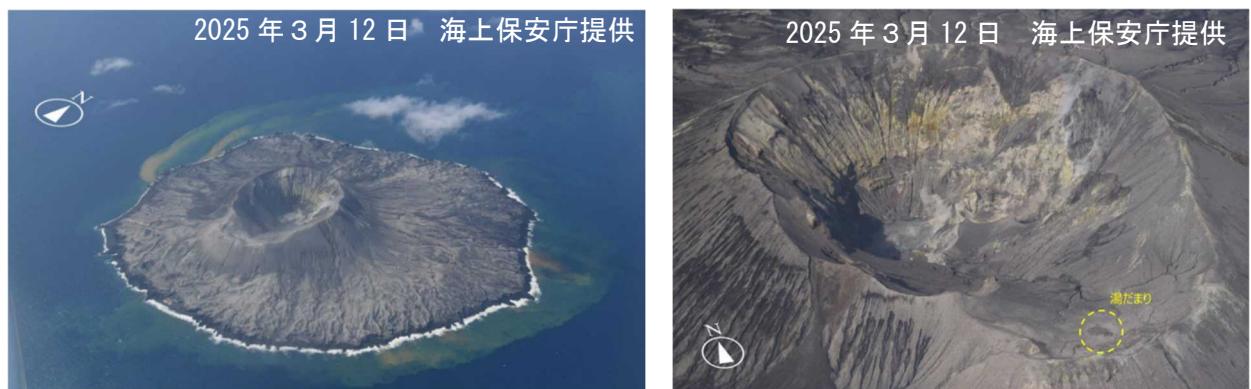


図5 西之島 3月の西之島の状況（海上保安庁による上空からの観測）

- ・噴火は認められませんでした。火碎丘中央火口内壁、特に東側では広い範囲で白色噴気が出ていました。
- ・火碎丘中央火口内及び外壁の一部に硫黄昇華物が分布していました。
- ・火碎丘中央火口内に、灰白色の火口湖を確認しました。火口湖の湖面から湯気が上がってきました。また、火碎丘中央火口南側内縁に灰色の湯だまりを確認しました。
- ・島のほぼ全周に、赤褐色から緑色の変色水が、広範囲に分布していました。



図6 西之島 3月の西之島の状況（海洋気象観測船「凌風丸」による海上からの観測）

- ・火口から噴気が上がっているのが認められました。
- ・南岸から南東方向に4.6kmほど延びる変色水域が認められました。
- ・南東岸から沖に0.9kmほど濃いエメラルドグリーンの変色水が認められました。
- ・島の南2.6kmほどの地点に軽石と思われる漂流物が認められました。
- ・島の南東約12kmにて硫黄臭が認められました。

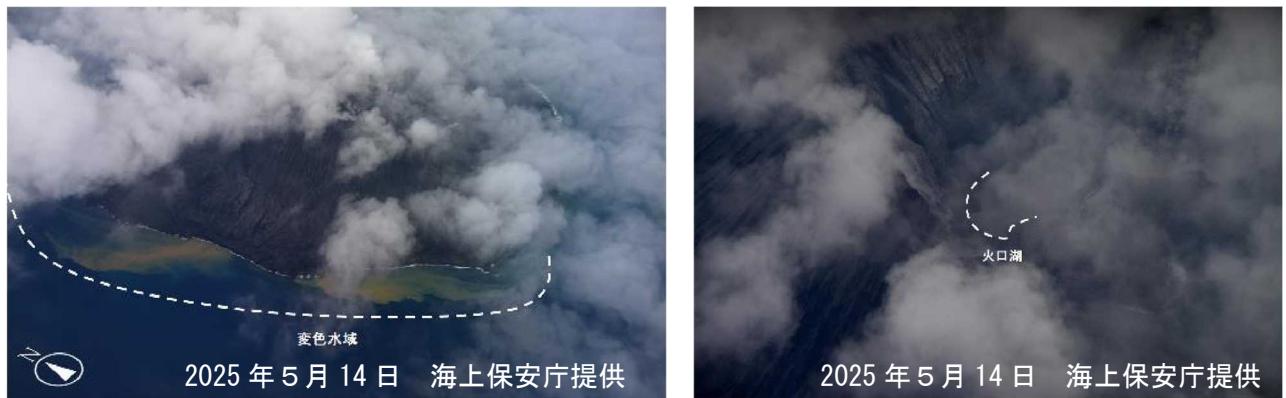


図7 西之島 5月の西之島の状況（海上保安庁による上空からの観測）

- ・噴火は認められませんでした。また、火碎丘中央火口内に火口湖が認められましたが、詳細は雲のため確認できませんでした。
- ・西岸～北岸～東岸にかけて、黄褐色～緑色の変色水分布が広範囲に認められました。



図8 西之島 6月の西之島の状況（海上保安庁による上空からの観測）

- ・噴火は認められませんでした。火碎丘中央火口東側内壁の広い範囲から白色噴気が出ていました。
- ・火碎丘中央火口内に灰白色の火口湖が認められました。
- ・島のほぼ全周の沿岸付近で赤褐色から緑色の変色水の分布が認められました。

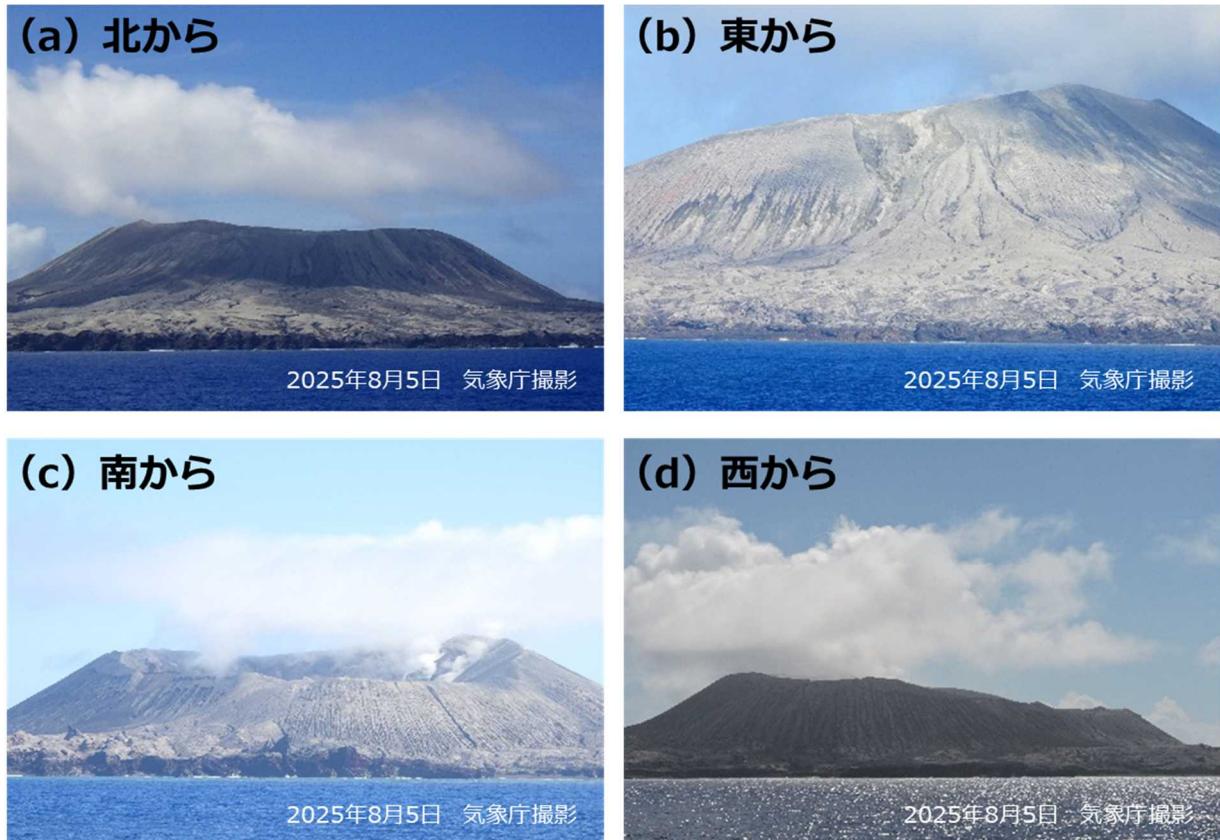


図9 西之島 8月の西之島の状況（海洋気象観測船「凌風丸」による海上からの観測）  
観測位置は図6参照。

- ・火口から白色噴気が上がっているのが観測されました。

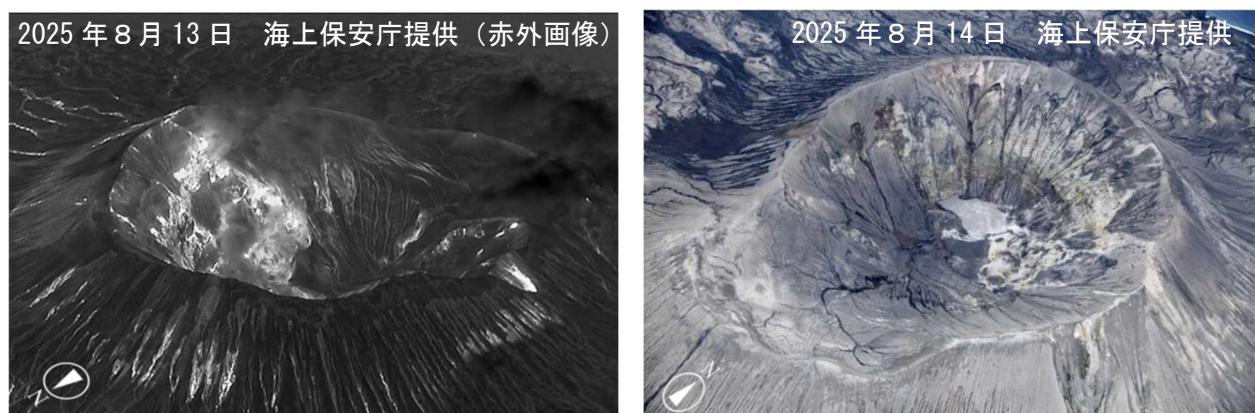


図10 西之島 8月の西之島の状況（海上保安庁による上空からの観測）

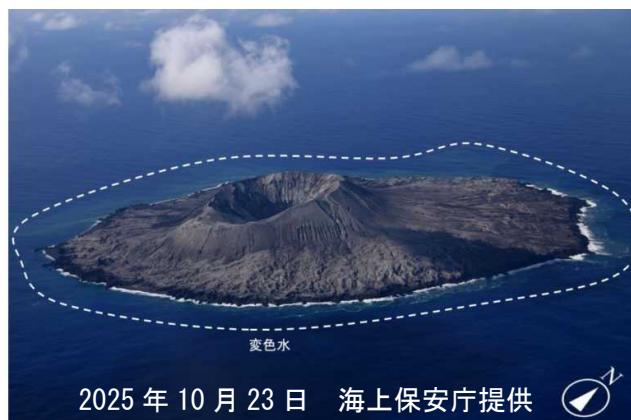
- ・噴火は認められませんでした。火碎丘中央火口東側内壁の一部から白色噴気が出ており、火口内に高溫域が確認されました。
- ・火碎丘中央火口内に灰白色の火口湖が認められ、火口湖表面からは盛んに水蒸気が上がっていました。
- ・島のほぼ全周の沿岸付近で茶褐色～緑色の変色水の分布が認められました。



2025年9月30日 海上保安庁提供

図12 西之島 9月の西之島の状況（海上保安庁による上空からの観測）

- ・噴火は認められませんでした。火碎丘中央火口東側内壁の一部から少量の白色噴気が出ていました。
- ・火碎丘中央火口内に茶色の火口湖が認められ、火口湖表面からは少量の水蒸気が上がっていました。
- ・島のほぼ全周の沿岸付近で黄褐色から青白色の変色水の分布が認められました。



2025年10月23日 海上保安庁提供



2025年10月23日 海上保安庁提供

図13 西之島 10月の西之島の状況（海上保安庁による上空からの観測）

- ・噴火は認められませんでした。火碎丘中央火口東側内壁の一部から少量の白色噴気が出ていました。
- ・火碎丘中央火口内に灰緑色の火口湖が認められ、火口湖表面からは少量の水蒸気が上がっていました。
- ・島のほぼ全周の沿岸付近で薄青色から黄緑色の変色水、一部で濃い黄褐色、茶褐色の分布が認められました。



2025年12月17日 海上保安庁提供

図14 西之島 12月の西之島の状況（海上保安庁による上空からの観測）

- ・噴火は認められませんでした。火碎丘中央火口東側内壁の一部から少量の白色噴気が出ていました。
- ・火碎丘中央火口内に灰緑色の火口湖が認められ、火口湖表面から少量の水蒸気が上がっていました。
- ・島のほぼ全周に茶褐色から緑色の変色水が前回の観測（10月23日）よりも広範囲に認められ、変色水に沿って筋状に赤みがかった灰色の浮遊物も認められました。

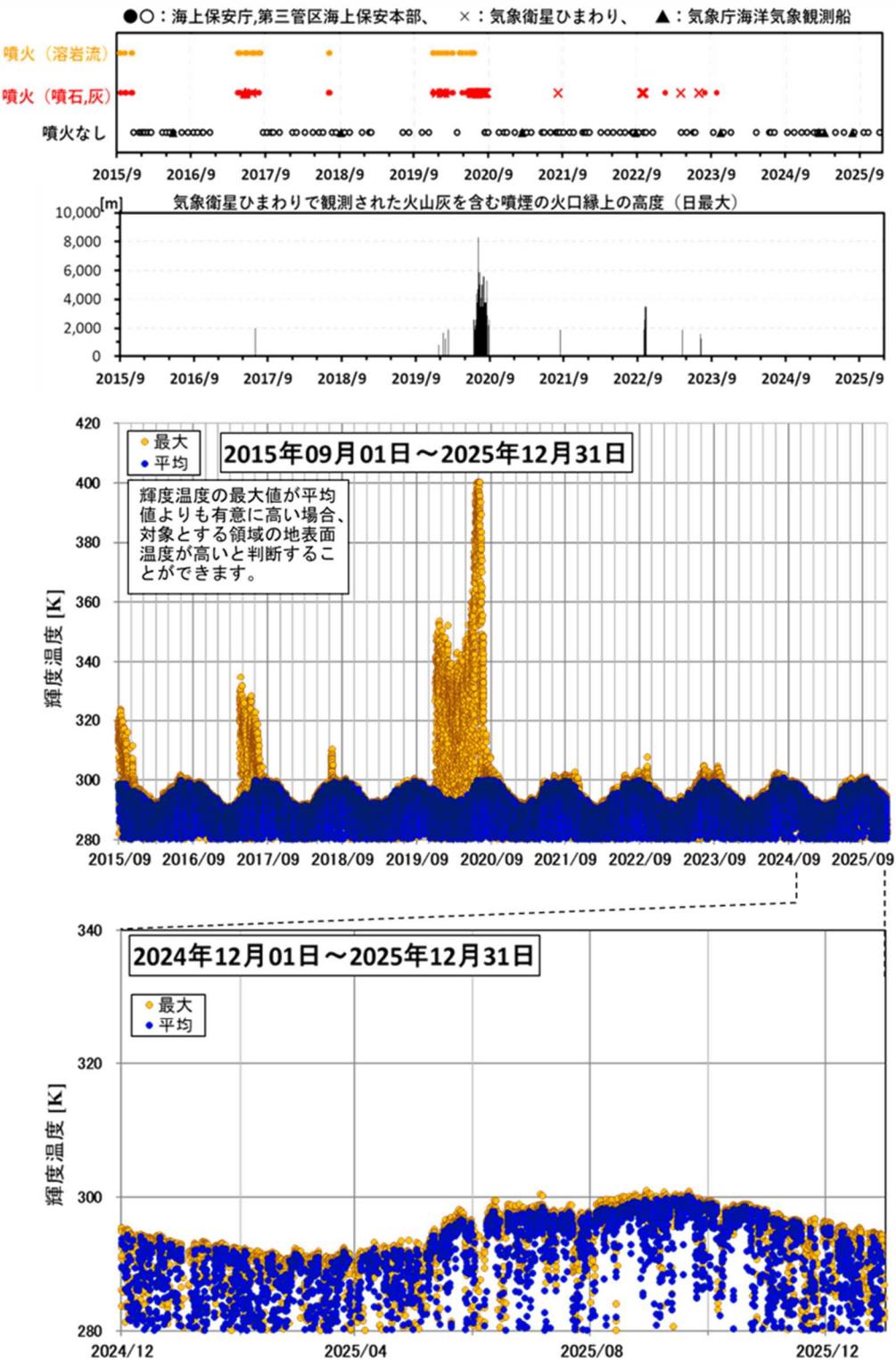


図 15 西之島 気象衛星ひまわりの観測による西之島付近の輝度温度の変化と各機関の観測結果

1段目：西之島観測結果。シンボルがあるタイミングで観測が行われています。●は海上保安庁、第三管区海上保安本部の観測を、×は気象衛星ひまわりの観測を、▲は気象庁海洋気象観測船の観測を、それぞれ示します。

2段目：気象衛星ひまわりで観測された火山灰を含む噴煙の火口線上の高度の日最大値を示します。

3、4段目：輝度温度は中心波長  $3.9 \mu\text{m}$  帯により観測されたものです。西之島を含む概ね 30km 四方の領域内の輝度温度の最大値と平均値を示しています。日射による影響を考慮し、夜間の観測値のみ解析しています。

- ・西之島付近の地表面温度については周囲とほとんど変わらない状態となっています。
- ・噴火は 2023 年 10 月 4 日を最後に観測されていません。

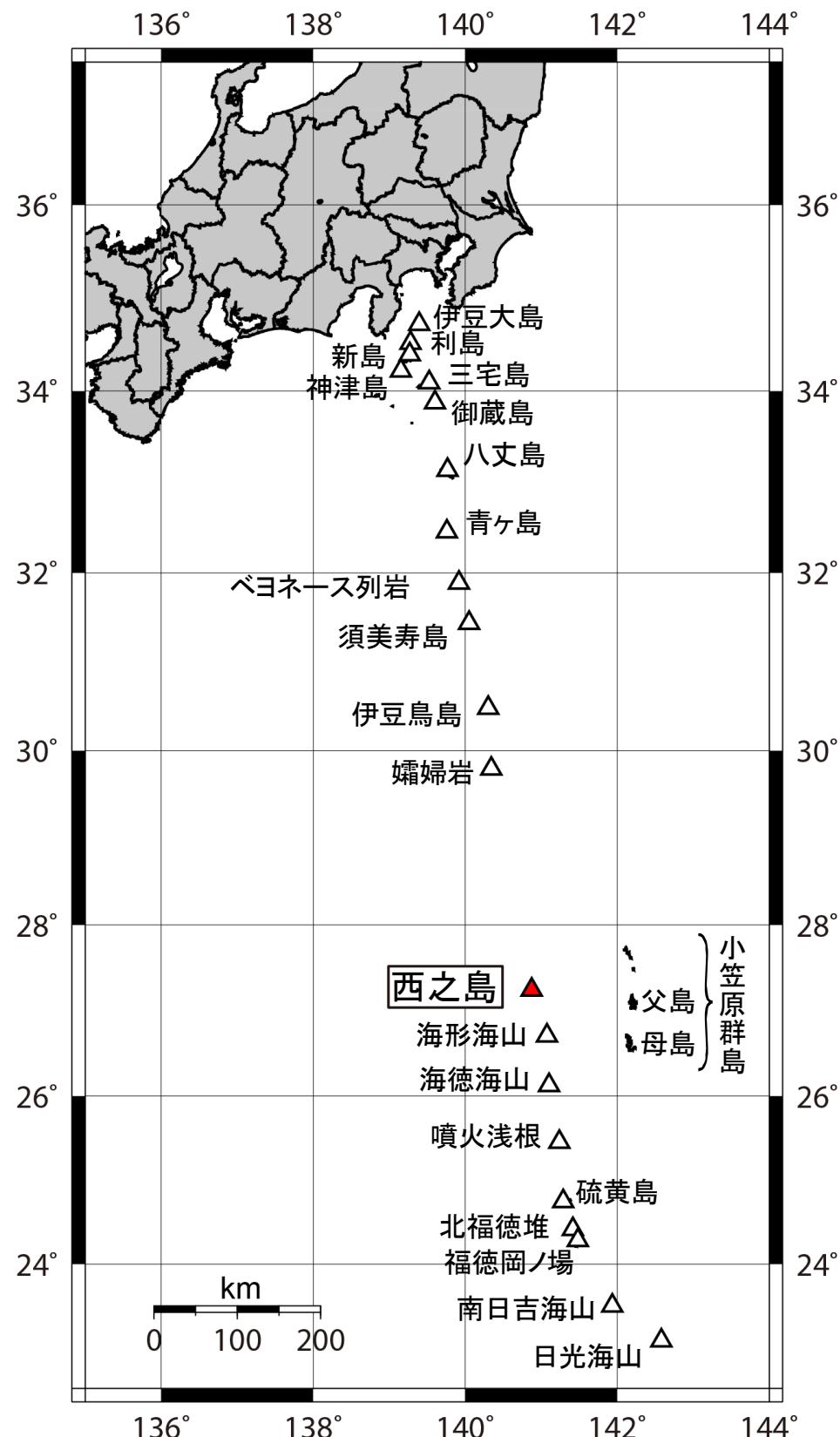


図 16 西之島 伊豆・小笠原諸島の活火山分布及び西之島の位置図  
西之島は、東京の南約 1000km、父島の西約 130km に位置します。